

指導と評価  
につながる  
クミイロ  
活用の仕方

# クミイロ活用の仕方

各解説には、ワーク活用の意図と主な発問例を示しました。題材との関連で学ぶ際には、任意に指導目標と評価の観点を設定して取り扱ってください。

「知識」習得の学びとして〔共通事項〕の主な関連事項を例示しました。項目はア、イ、又は両方記載しておりますが、どちらか一方だけではなく両方が関連した上で、より特長的な学びがある項目を示しています。

# A. (カテゴリ: 季節・遠近・バランス)

このワークは風景の重なりから考えたワークです。3つの線で区切られた4面に、任意の色を入れることで季節感や遠近感を表す事ができるとともに、色の響き合いや、4面の配色バランスなども検討できます。

## Q. 主な問い

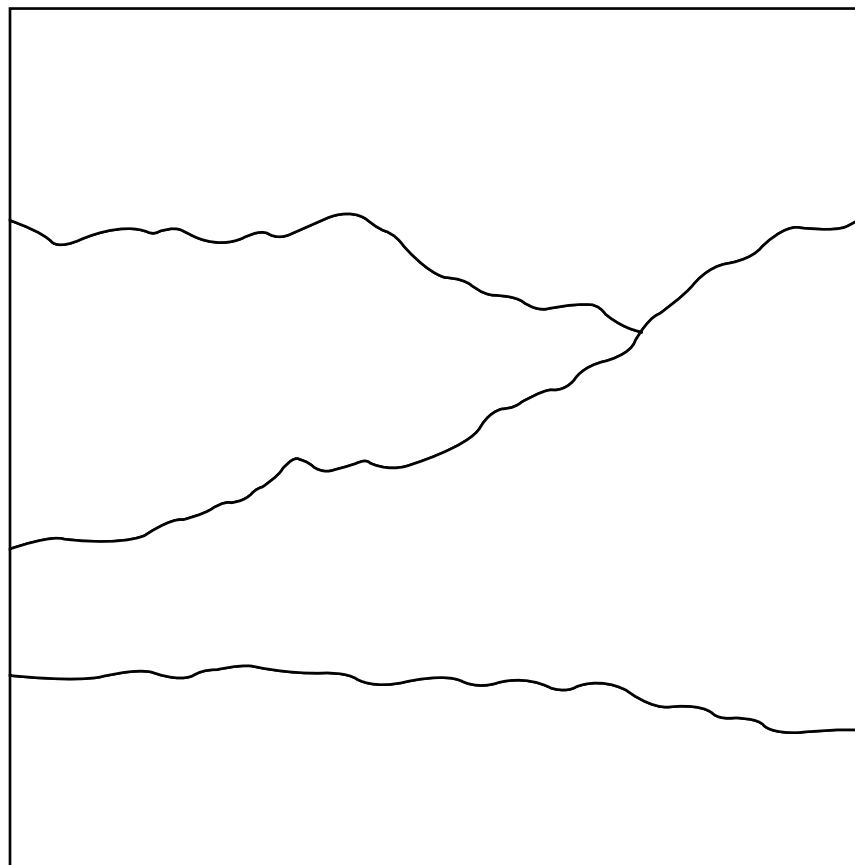
- 4色で好きな季節を表そう [イ]
- 朝の感じ、昼の感じ、夕方の感じなど、時間を表してみよう [イ]
- 配色を考え遠近感を出してみよう [ア]
- 2色や3色で色分けし、面白い色と形の組み合わせを見つけ題名をつけてみよう。 [ア, イ]

[共通事項]

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

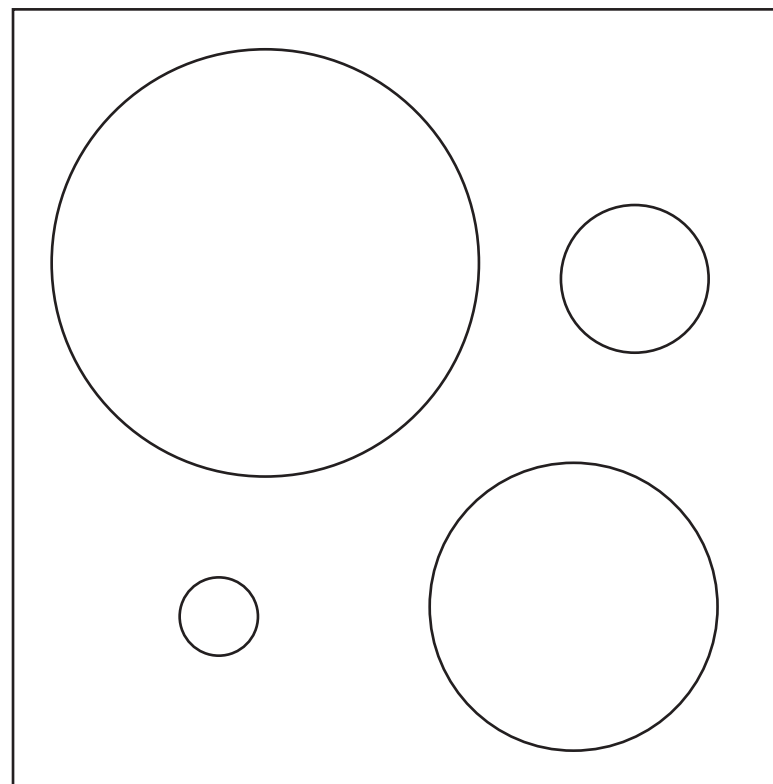


# B. (カテゴリ: 遠近・対比・バランス)

図(円)と地(背景)の関係を、任意の色を入れることによって前進色や後退色を理解するワークです。また、面積に左右されない色の強さなども理解できます。様々な対比についても実験できます。

## Q. 主な問い

- 小さな○が一番手前に、大きな○が一番奥になるように図と地に色を入れよう。〔ア〕
- 図が浮き出て見える配色をしてみよう。〔ア〕
- 図が沈んで見える配色をしてみよう。〔ア〕
- 激しさを感じる色の組み合わせをしてみよう。〔イ〕
- 安らぎを感じる色の組み合わせをしてみよう。〔イ〕



〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

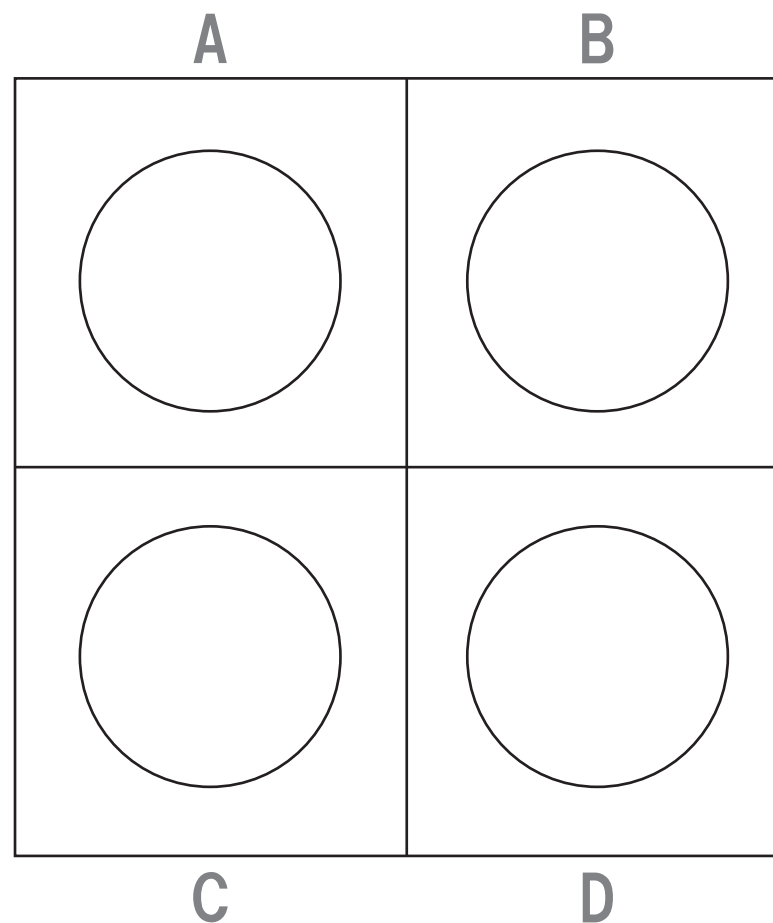
イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

# C. (カテゴリー: 遠近・対比・視認性)

4つの正方形に正円が入っています。図（正円）に同じ色を入れて地（正方形）の色を変えたり、地に同じ色を入れて図の色を変えたりできます。

## Q. 主な問い

- 地の色を揃えて、円に任意の色を入れ前に飛び出して見える円、後ろに下がって見える円をつくろう。〔ア〕
- 円の色は揃えて、地に明度（色の明るさ）が低い色と高い色、彩度（色の鮮やかさ）が低い色と高い色をそれぞれ入れ丸の色の見え方が変わるか確かめてみよう。〔ア〕
- 上段に目立つ色の組み合わせ、下段に目立たない色の組み合わせを考えながら色をいれてみよう。〔ア〕



〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

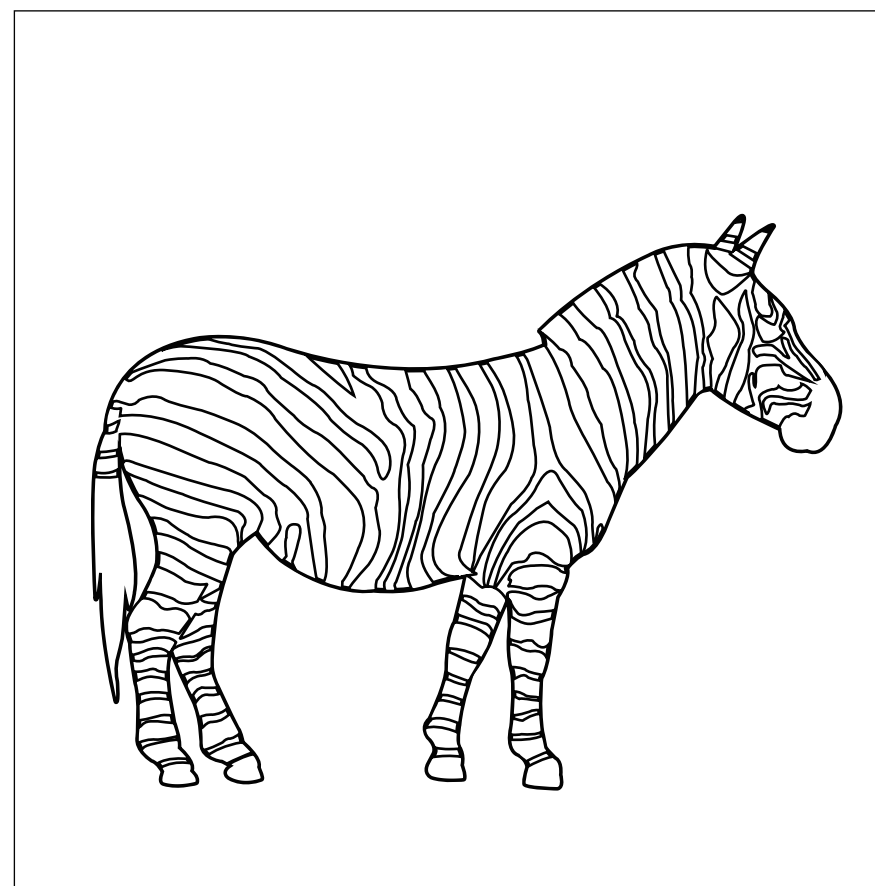
イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

# D. (カテゴリ: 対比・感情)

地とシマウマ（2色）の3色で、色が見る人に与える感情を考えるワークです。色づけしたあとに輪郭線を消すと色彩の効果が分かります。

## Q. 主な問い

- 元気そうなシマウマになるよう配色しよう。〔イ〕
- 悲しげなシマウマになるよう配色しよう。〔イ〕
- 「〇〇なシマウマ」という題名でシマウマの気分を設定し、その気分を色で表してみよう。〔イ〕
- そのように感じた理由を発表しよう。〔ア〕



〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

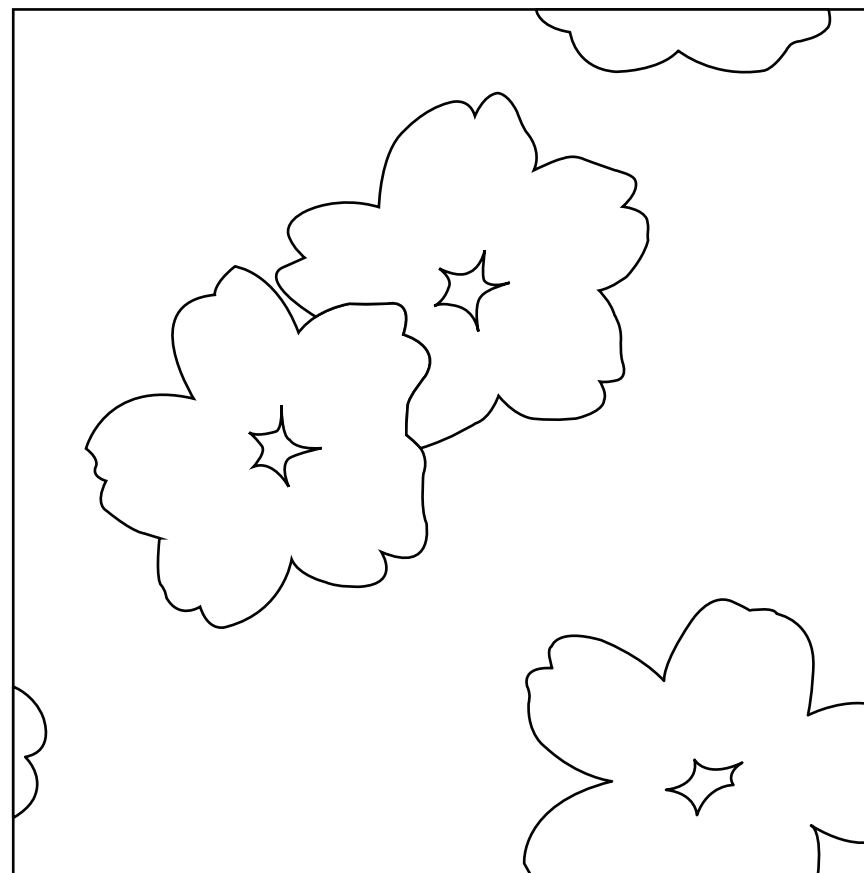
イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

# E. 花（カテゴリ：季節・遠近）

形がもつイメージだけではなく、色彩の変化（地の配色の違いや）花の色で季節感が変わったり、色によって奥行き、遠近が変化することを学ぶワークです。

## Q. 主な問い

- 春のイメージに合わせて色を入れよう〔イ〕
- 夏のイメージで色を入れよう〔イ〕
- 奥行きが感じられるように色をいれてみよう〔ア〕
- モノクロームの配色で春の感じを出してみよう〔イ〕
- モノクロームの配色で夏の感じを出してみよう〔イ〕



〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

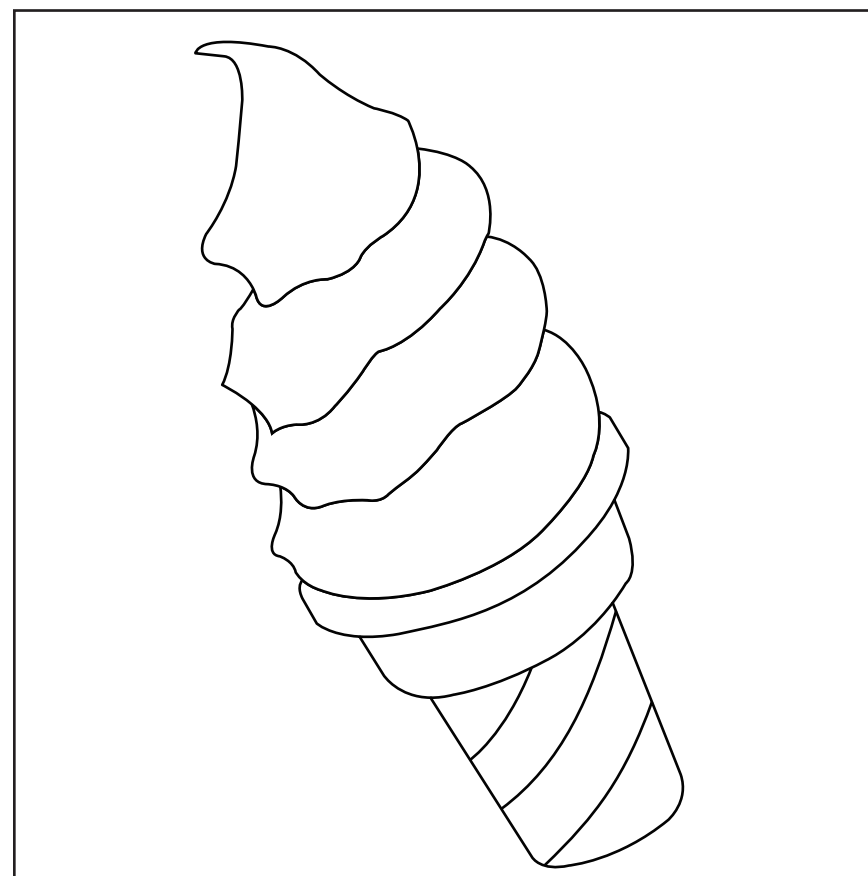
イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

# F. 食べ物（カテゴリ：季節・形と色）

色によって味などのイメージがつくられている事が理解できるワークです。また、配色によって季節感も変わる事が理解できます。

## Q. 主な問い

- 夏のイメージに合わせて色を入れよう。〔イ〕
- 秋に食べるソフトクリームのイメージで配色しよう。〔イ〕
- 食べたらどんな味がするか想像しながら色を入れてみよう。〔イ〕



〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

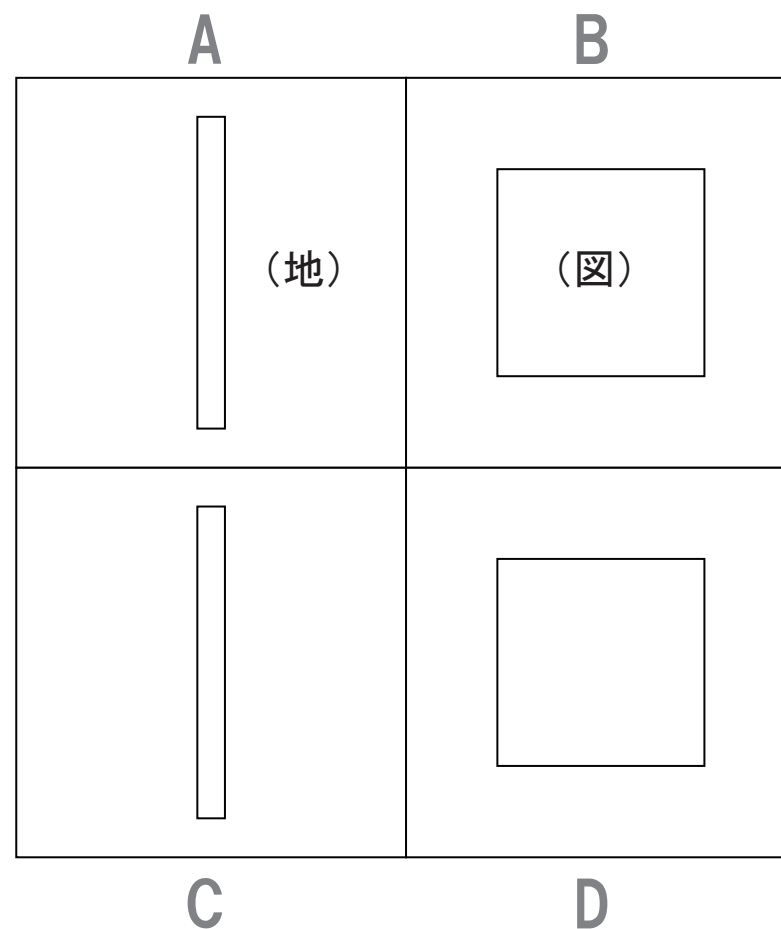


# G. (カテゴリ: 対比・バランス・視認性)

図と地の色面の大きさによって見やすさや強さなどが変わることや、色彩の組み合わせによる視認性について理解できます。

## Q. 主な問い

- 上段の地A Bに明度の低い色、下段C Dに高い色を入れて、中の四角(図)の見え方が変わるか確かめてみよう(図には同じ色を入れる)〔ア〕
- 上段の地A Bに彩度が低い色、下段C Dに高い色を入れ、中の四角の色の強さ、色味が変わるか確かめてみよう(図には同じ色を入れる)〔ア〕
- 目立つ色の組み合わせ、目立たない色の組み合わせを考えながら背景と四角に色をいれてみよう〔ア〕



〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

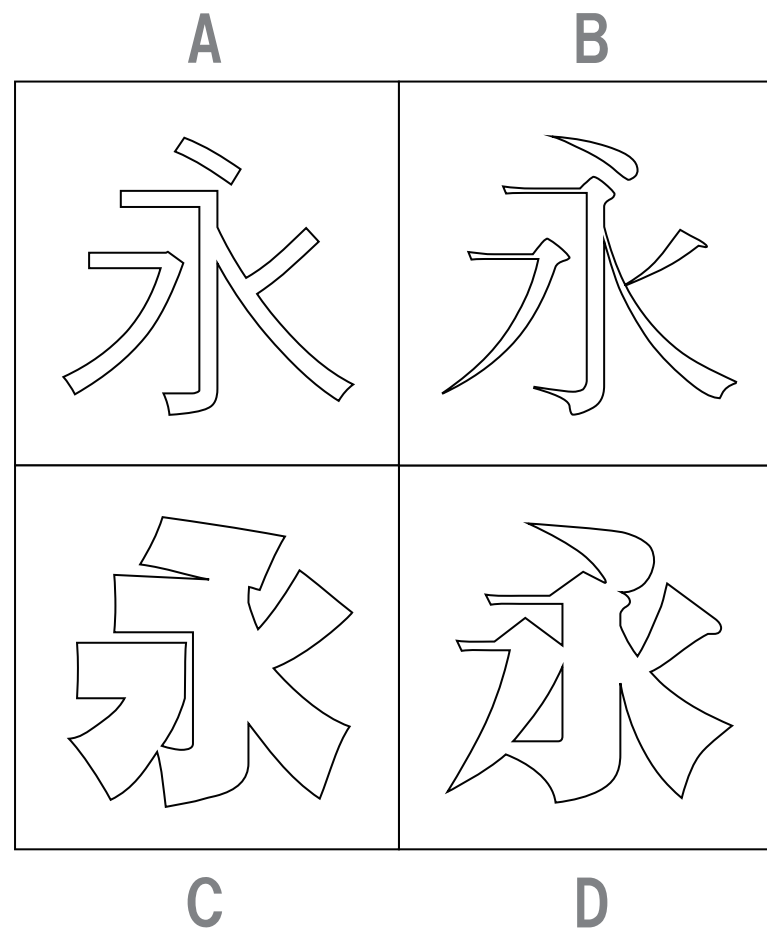
イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

# H. 「永」 (カテゴリ: 文字・視認性)

文字の太さや色彩によって文字の見やすさは変化したり、細くても視認性の高い色の組み合わせなどを理解するワークです。

## Q. 主な問い

- 地の色を揃えて、文字の色を変え、すべての文字が同じ強さを感じられるように色を入れてみよう。〔ア〕
- 地の色と、文字の色の組み合わせを工夫して目立つ色、目立たない色の組み合わせを考えよう。〔ア〕
- 4つの枠から一つを選び、テーマを決めてそれにあつた配色をしてみよう。(テーマ: 神経質な文字、優しい、力強い、温かい、冷たい、頼りない、など) 〔イ〕



〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

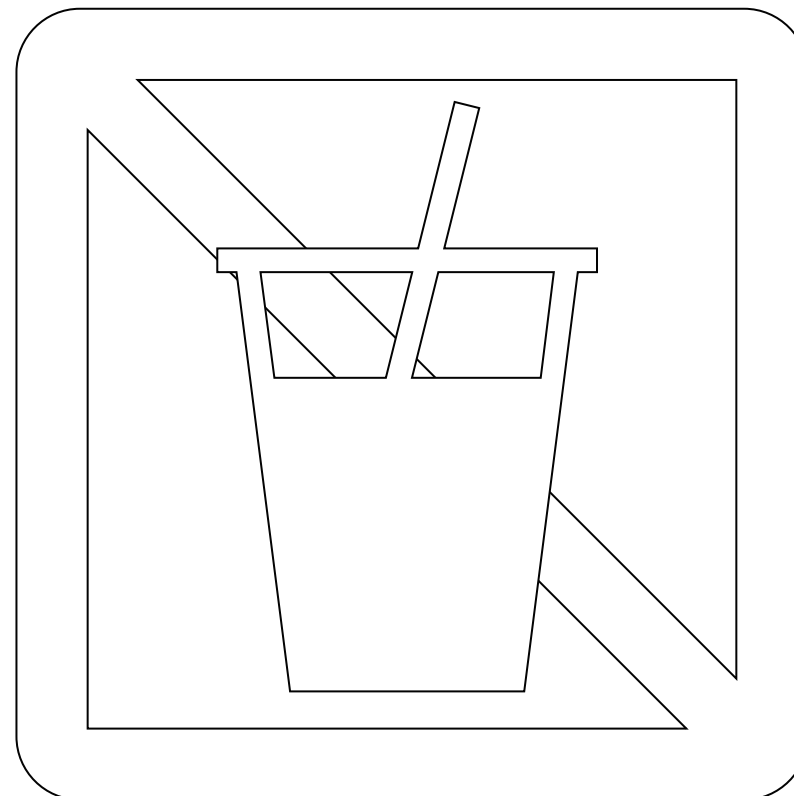
イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

# I. ピクトグラム (カテゴリ: 視認性)

禁止を表す斜線と、飲み物を表すドリンクのカップ。それぞれの色を変えることによって見やすさや伝わる強さが変わります。

## Q. 主な問い

- 禁止の斜線と、ドリンクのカップにそれぞれ色を入れて、あまり飲み物禁止と思えない色の組み合わせを考えよう〔イ〕
- 禁止の斜線と、ドリンクのカップにそれぞれ色を入れて、遠くからでも見やすい色の組み合わせを見つけよう。〔イ〕
- 注意を伝えるのに適した色を入れてみよう〔ア〕



〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

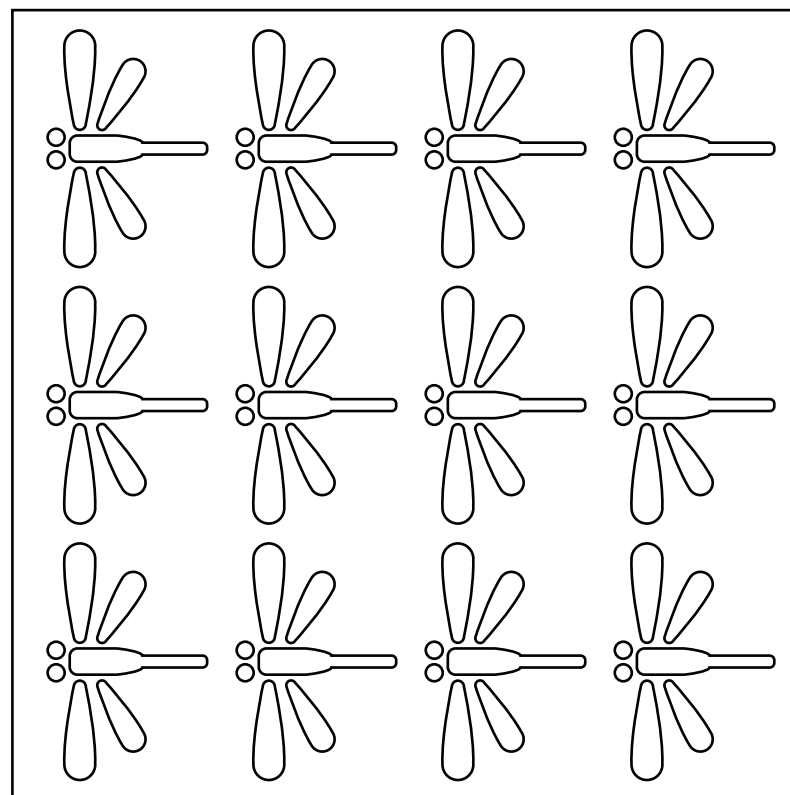
イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

# J. トンボ (カテゴリ: 余白の効果 ・ 連続模様)

任意の位置のトンボを消して余白を作り、余白の効果を理解するワークです。また、連続模様として、色の配置の工夫や構成を考えるワークです。

## Q. 主な問い

- トンボを消して余白が生まれるとどんな感じがしますかトンボの位置や数によって変わる印象を話し合ってみよう。〔ア〕
- 連続する模様を想像して、図と地の色を工夫し配色をしてみよう〔イ〕
- できた模様の商品名をつけよう。〔イ〕



### 〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

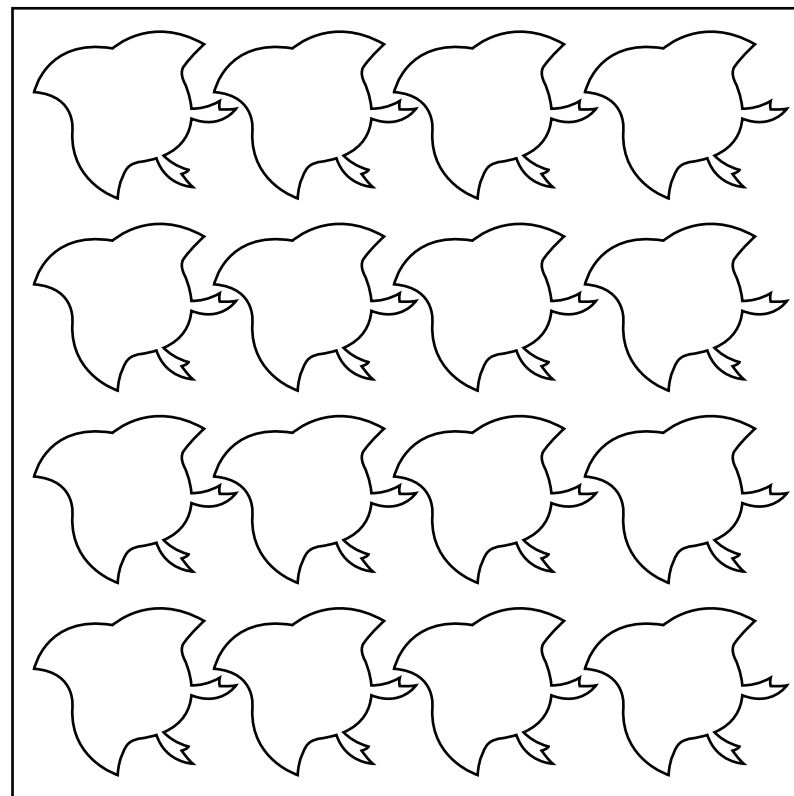
# K. 千鳥 (カテゴリ: 余白の効果

## ・連続模様)

任意の位置の千鳥を消して余白を作り、余白の効果を理解するワークです。また、連続模様として、色の配置の工夫や構成を考えるワークです。

### Q. 主な問い

- 千鳥を消して余白が生まれるとどんな感じがしますか。千鳥の位置や数によって変わる印象を話し合ってみよう。〔ア〕
- 連続する模様を想像して、図と地の色を工夫し配色をしてみよう〔イ〕
- できた模様の商品名をつけよう。〔イ〕



〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

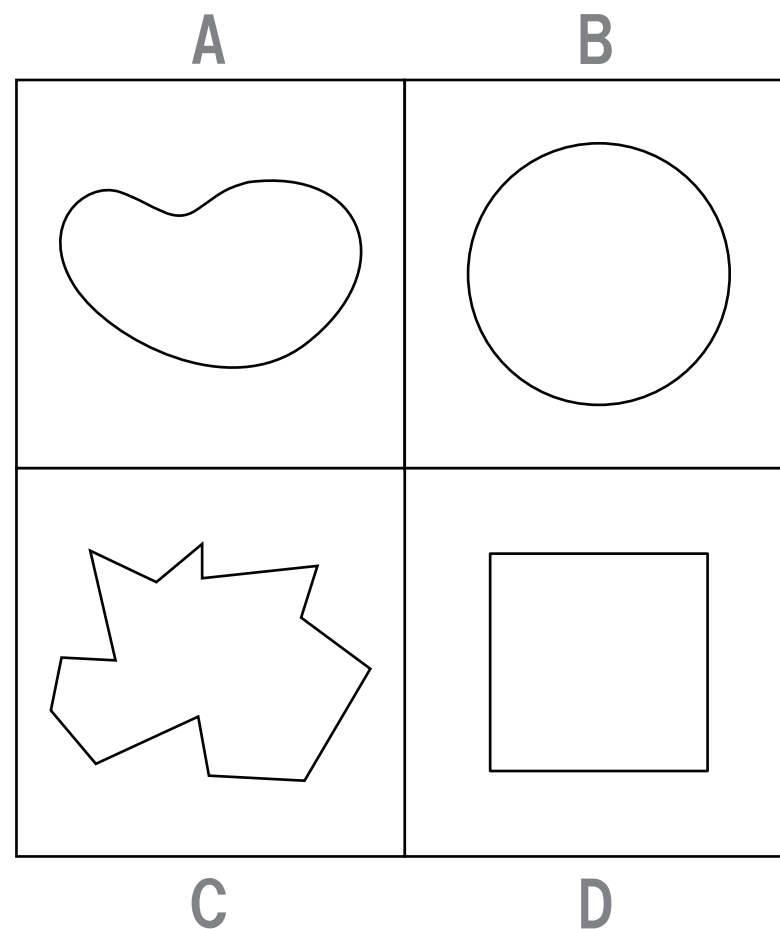
イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

# L. (カテゴリ: 形と色・感情)

形と色との組み合わせで、感情を表す事ができる事を理解するワークです。また、同じ形でも色によって印象が変わるとか、図と地の色の組み合わせで印象が強まったり和らいだりすることが理解できます。

## Q. 主な問い

- 4つ図(形)がそれぞれどんな感触や性質を持っているか想像しながら、形の印象を考えて色をいれてみよう (A~Dの題名を考えてみよう) [ア]
- 任意の感情を想定し、その感情を一番表しやすい形を選び、色を入れてみよう。(どんな感情ですか) [イ]



[共通事項]

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

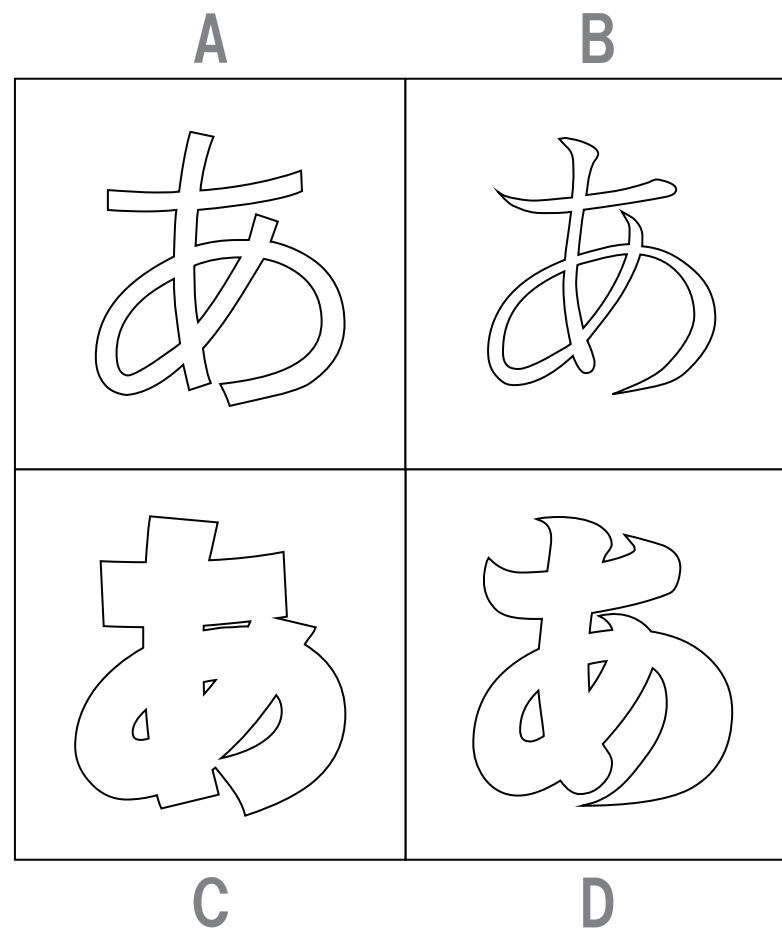
イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

# T. 「あ」(カテゴリ: 文字・視認性)

文字の太さや色彩によって文字の見やすさは変化したり、細くても視認性の高い色の組み合わせなどを理解するワークです。

## Q. 主な問い

- 地の色を揃えて、文字の色を変え、すべての文字が同じ強さを感じられるように色を入れてみよう。〔ア〕
- 地の色と、文字の色の組み合わせを工夫して目立つ色、目立たない色の組み合わせを考えよう。〔ア〕
- 4つの枠から一つを選び、テーマを決めてそれにあった配色を試みよう。(テーマ: 神経質な文字、優しい、力強よい、温かい、冷たい、頼りない、など)〔イ〕



〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

# U. 「R」 (カテゴリ: 文字・視認性)

文字の太さや色彩によって文字の見やすさは変化したり、細くても視認性の高い色の組み合わせなどを理解するワークです。

## Q. 主な問い

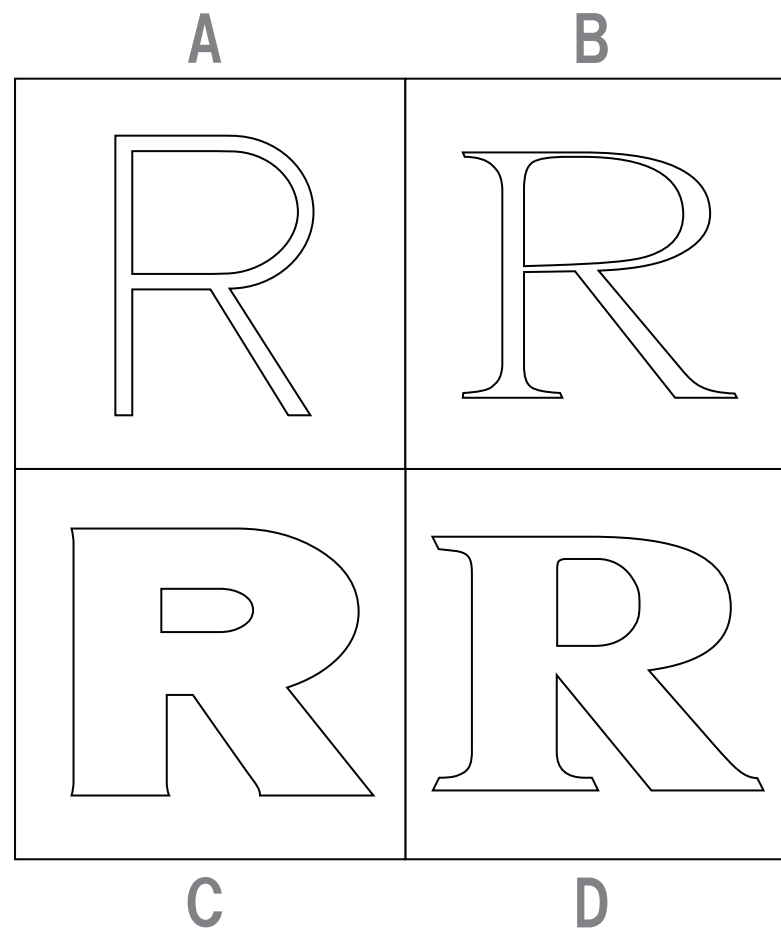
- 地の色を揃えて、文字の色を変え、すべての文字が同じ強さに感じられるように色を入れてみよう。〔ア〕
- 地の色と、文字の色の組み合わせを工夫して目立つ色、目立たない色の組み合わせを考えよう。〔ア〕
- 4つの枠から一つを選び、テーマを決めてそれにあった配色を試みよう。(テーマ: 神経質な文字、優しい、力強よい、温かい、冷たい、頼りない、など) 〔イ〕

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。



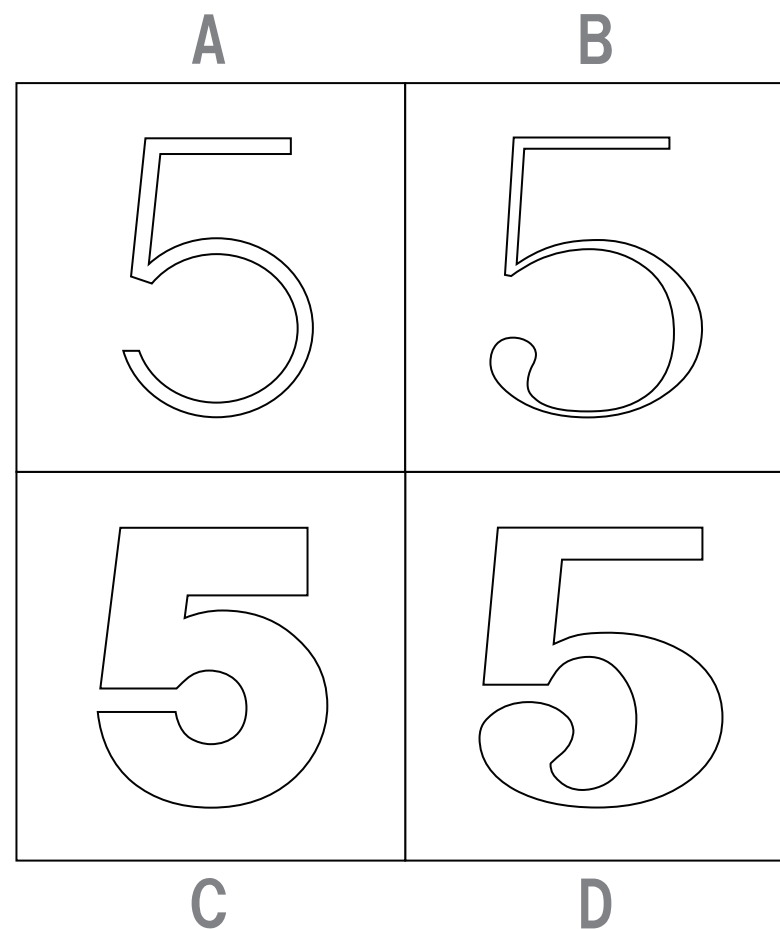


# W. 「5」 (カテゴリ: 文字・視認性)

文字の太さや色彩によって文字の見やすさは変化したり、細くても視認性の高い色の組み合わせなどを理解するワークです。

## Q. 主な問い

- 地の色を揃えて、文字の色を変え、すべての文字が同じ強さを感じられるように色を入れてみよう。〔ア〕
- 地の色と、文字の色の組み合わせを工夫して目立つ色、目立たない色の組み合わせを考えよう。〔ア〕
- 4つの枠から一つを選び、テーマを決めて、テーマにあった配色をしてみよう。(テーマ: 神経質、優しい、力強い、温かい、冷たい、頼りない、など)〔イ〕



〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。

イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

# 幾何学パターン

様々なテーマでの色彩構成に利用できます。

